

帯広市立北栄小学校 学校便り 8号



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和元年5月27日 発行者 校長 池下 栄里子

- 思いやりのある子
- たかましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子



昨年に引き続き2年目となる「外国語・外国語活動」の研究。今年目指しているのは、『児童も教師も伝え合う楽しさを感じる授業』です。

先日、扇学級で今年度1回目の交流授業が行われ、全校の先生達が参観して研修を深めることができました。

生き生きと学習に取り組む子ども達の姿が見られました。

Do you like Sunday?



参観している先生にもどんどん質問

Yes, I do.

授業は、A-L-Tのスタイルで進められました。



集団下校訓練 (5/24)

全校児童を対象に、集団下校訓練を行いました。子ども達は方面ごとに決められた場所に集合し、引率の先生と一緒に順に出発しました。高学年の児童は、一年生を気遣いながら訓練に参加していました。とても素晴らしいなと思います。



『帯広市子供安全ネットワーク』へのご登録、ありがとうございます。不審者情報や悪天候に係っての登下校時刻の変更、及び臨時休校等の連絡はメール配信で行っています。来月には運動会もあります。運動会の開催合図は、花火の打ち上げではなく、このメール配信で行っています。未登録のご家庭は早めの登録にご協力ください。ご不明な点は、本校教頭（☎24-5697）までお問い合わせください。

いつもきれいなお花を ありがとうございます。

職員玄関にきれいなお花が飾られています。ボランティアの〇〇〇さんが定期的に飾りに来てくださっています。



『北栄の子は、みんな明るい挨拶ができる』ことを、『当たり前』にしたい。

朝、交連協の方やPTAの皆さんが子どもの登校を見守ってくださっています。一人一人の子ども達に、「おはよう。いってらっしゃい。」と言葉をかけてくださいます。ありがたいなと思います。ただ、それに対する反応が薄い子どもがいて残念です。「おはようございます。」「いってきます。」と元気に反応して欲しいです。

「北栄の子は、お世話になっている方に感謝の気持ちを込めて、自分から進んで明るい挨拶ができることを『当たり前』にしたい」と願っています。



おはよう。
いってらっしゃい。

ちなみに、第一中学校では、『リアクション運動～確実に反応する』ことに力を入れています。一中に行くと、生徒達はきちんと立ち止まって挨拶をしてくれます。大変気持ちがいいです。

本校の子ども達は卒業したら一中に行きます。ですから、小学生のうちから明るい挨拶が進んでできる子にしてあげたいと思っています。小中連携の観点からも大事なことです。

ご家庭でも意識していただくと効果倍増です。よろしくお願いします。



「横断歩道のない国道を横切る子どもがいて危ない。」という情報提供

がありました。学校でもしっかり指導しましたが、ご家庭でも、繰り返し言って聞かせてください。

最近、幼い子が被害に遭う痛ましい事故が続いています。せめて、自分が注意すれば防げる事故は絶対になくさなければなりません。

北栄元気クラブ & 北栄地区生涯学習推進委員会共催『防災教室』

本校では、例年、6年生が防災キャンプを開催していますが、今回は、土曜日の元気クラブにおいて、生涯学習推進委員の皆さんと共催の形で『防災教室』が実施されました。帯広市の防災担当の職員が講師を務めてくださり、30名ほどの子どもが参加して、実際に地震速報が流れたときの身の守り方や避難所で活用できる新聞紙スリッパの作り方を教えていただくなど、遊びを通しながら、いざという時の身の守り方を学びました。

このように、地域が主体となった防災教室の開催は、地域ぐるみで防災に対する意識を高める良い機会となりました。



緊急地震速報が出たらすぐに身を守る



防災カルタを通した学び



新聞紙で作ったスリッパを履いて